

### 市民の健康「食」で支える拠点 「市総合食育センター」開所

遠野・宮守の両学校給食センターに替わり、4月から学校給食を提供している「市総合食育センター」の開所式は4月3日、松崎町の同所で開催されました。市関係者や市民ら220人は、市民の健康を「食」で支える拠点の完成を祝いました。

式典では経過報告や地場産品を使った給食メニューの提案のほか、給食の試食会を実施。試食会のメニューはご飯、春雨サラダ、ハンバーグ、ジュリアンヌスープの4品で、参加者は学校給食の味を楽しんでいました。



旧遠野学校給食センター脇に新設された市総合食育センター

能は旧給食センターの解体後に随時始動し、11月から本格的に稼働します。

### 農業や地域づくりを学びたい 11人目の緑の協力隊員着任

NPO法人地球緑化センターが派遣する「緑のふるさと協力隊」として着任した若林利子さんは4月11日、とびあ庁舎を訪れ、本田市長に着任のあいさつをしました。若林さんは埼玉県出身で、現在東京農業大学4年生。農業を通じて国際協力について専攻しており、農業の活性化や地域づくりの現場を学び将来に生かしたいと大学を休学し

て同協力隊に応募しました。若林さんは「米作りや牛の世話など農業体験が楽しみ。郷土芸能や消防ラッパ隊など地域との交流も深めたい」と期待を膨らませました。同協力隊の受け入れは11人目で、派遣期間は来年3月までの1年間。宮守総合支所を拠点に農作業や地域活動を体験しながら、遠野の文化や歴史、郷土芸能を学びます。



農業の現場を体験したいと本田市長らに意気込みを語る若林さん(中央)

### 郷土の自然後世に伝えるため 2件を市指定天然記念物に

宮守町達曽部にある湿原「大森の大谷地」と、同町下宮守の砥森神社境内にあるアカマツの2件が、市指定天然記念物に指定されました。2月21日に開催された市文化財保護審議会からの答申を受け、3月26日の教育委員会定例会で決定されたものです。この結果、市指定の天然記念物は45件、市指定文化財は121件となりました。

◆大森の大谷地(宮守町達曽部)：北上山地では希少な低層湿原で、自然性の高い湿原植物群落が広がっている。豊かな昆虫相も確認されており、貴重な地形。

◆砥森神社のアカマツ(宮守町宮守)：砥森神社境内にある2株のアカマツの巨木。古くから宮守地区の象徴的樹木として親しまれ、文化的価値が高い。



砥森神社のアカマツ(写真は東株のみ)



大森の大谷地の一部

### 名曲『遠野物語』が結んだ縁で 萩原印刷株式会社操業開始

書籍印刷などを手掛ける萩原印刷株式会社(本社東京、萩原誠社長)の遠野事業所開所式は4月2日、遠野まちなかギャラリー(旧物産館)で行われました。会社関係者ら40人はテープカットと看板の設置で、本市での創業を祝いました。

萩原社長は大学時代、シンガーソングライターとして現在も活躍中のあんべ光俊さんとフォークグループ「飛行船」を結成。名曲『遠野物語』を生んだ縁などから遠野での事業所開設を決意しました。萩原社長は「文化と伝統が息づく遠野市に開所できて光榮です。遠野からベストセラーを



開所式で固い握手を交わす萩原社長(左)と本田市長

出し、遠野の発展にも貢献したい」と意気込みを語り、本田市長は「地元採用など、本市での開所は大変ありがたい。さまざまな書籍を手掛け、新しい遠野の文化を発信してほしい」と成功を祈りました。事業所は遠野まちなかギャラリーの2階(延べ床面積104.3㎡)で、本市や釜石市、北上市出身の専門学校の新卒者など5人と本社のスタッフが常駐。書籍のレイアウトや電子書籍のデータ制作などを行います。



37年ぶりに遠野でコンサートを開催した「飛行船」。右から二人目が萩原社長

### 伝統受け継ぎ新たな歴史築く 新設3中学校で開校式開催

中学校再編成により4月に誕生した遠野中、遠野東中、遠野西中の新設3中学校の開校式と入学式は4月5・6の両日、各校で行われました。新たな門出を迎えた各校の新生と2・3年生は、新中学校での飛躍を、参加した地域住民や市関係者らはこれまでと変わらぬ学校への支援をそれぞれ誓いました。

入学式に先立ち行われた開校式では、本田市長が開校を宣言。似内宏和教育委員長から各学校の校長と生徒会長へ新しい校旗が手渡されました。本田市長は「学びやすい環境整備に全力で取り組む。生徒の皆さんにはこれまでの学校の伝統を受け継ぎながら、新たな歴史を築いてほしい」とあいさつ。入学式では各学校の生徒会長が新入生へ歓迎の言葉を述べ、共に新しい学校をつくっていくと呼び掛けました。式の最後には生徒や教員、父母らが各校の新しい校歌を歌い、新たな学校の幕開けに心を一つにしました。

なお、これまで旧附馬牛内に置かれていた花巻清風支援学校中部遠野分教室は、遠野中学校内に設置されています。



校旗を受け取る三浦和人遠野東中学校長(右)

### 宝くじ助成金を活用し 活動用資機材を設置

遠野第13区自治会(多田共文会長)は、(財)自治総合センターの宝くじ助成事業を活用し、除雪機、芝刈り機、管理機、草刈機、発電機、ガスコンロ、掃除機、ストーブ、血圧計全13点を整備しました。これらの機器は13区自治会館に設置・保管され、環境保全、自治会の農園整備、災害時の備えなどに活用されます。



配備された(左から)管理機、発電機、除雪機

### 深澤範子さんが 医療功労賞全国表彰を受賞

宮守歯科診療所の深澤範子所長が読売新聞社主催第41回医療功労賞全国表彰を受賞しました。所長は同診療所に34年間勤務。「健康の源は口にあり」をモットーに、虫歯予防などに尽力してきたことなどが認められ、同賞を受賞しました。



深澤範子さん



校旗を受け取る牧野和男遠野中学校長(右)



校旗を受け取る菊池塔寿遠野西中学校長(左)